

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 27. 8. 26 第 189 回国会第 20 号

8 月 26 日（水）、第 20 回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・林農林水産大臣、西村康稔内閣府副大臣、あべ農林水産副大臣、小泉内閣府大臣政務官、大家財務大臣政務官、橋本厚生労働大臣政務官、中川農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

武 部 新君（自民）

- ・北海道庁によるジャガイモシロシストセンチュウの確認後、政府はどのような対応をとったのか。
- ・ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性品種の開発等を早急に行う必要があるのではないか。
- ・政府が中心となって抜本的なジャガイモシロシストセンチュウ対策を講ずべきと考えるが、農林水産大臣の意気込みを伺いたい。

石 田 祝 稔君（公明）

- ・J A 全中の会長が奥野会長に交代したが、農林水産大臣として、J A 全中とどのような形で連携して農政発展に向けた取組を行っていくとしているのか。
- ・排出ガス規制への対応による農業用機械の値上がりに対し、様々な対策を講じていくべきだと考えるが、農林水産省ではどのように考えているのか。
- ・鳥獣被害防止のために設置された電気さくの安全対策について、農林水産省としてどのように周知徹底を図っていくと考えているのか。

玉 木 雄一郎君（民主）

- ・T P P 交渉に関する米国産米の無関税枠についての甘利 T P P 担当大臣の発言は、農林水産省として了解したものなのか。
- ・T P P 交渉の早期妥結を目指すのではなく、本来の趣旨に沿った内容での妥結を目指すべきではないか。
- ・飼料用米への転換政策には、補助金額が大きな影響を与えているが、政策の継続性について、財務省はどのように考えているのか。

岸 本 周 平君（民主）

- ・厚生労働省が発表した「保健医療 2035 提言書」の中で、

健康リスク減少の観点から砂糖への課税を行うとあるが、本提言書は政府部内でどのような位置付けなのか。

- ・平成元年に廃止された砂糖消費税について、課税の目的は健康リスクの軽減ということであったのか。
- ・平成 12 年の砂糖の価格安定等に関する法律等改正案に対する附帯決議において、砂糖の需要拡大を図るため加糖調製品対策に取り組むことが求められたが、農林水産省ではどのような施策を講じてきたのか。

鈴 木 貴 子君（民主）

- ・ロシア連邦の 200 海里水域における流し網漁を禁止する法案が成立したが、これまでの政府の対応は十分だったのか。
- ・ロシア側に対し同法律の実施の延期等を働きかける考えはあるのか。
- ・流し網漁業禁止の影響を受ける漁業者、加工業者等に対しどのような支援を考えているのか。

松 木 けんこう君（維新）

- ・T P P 交渉について、国益に反しない形での決着がつく見込みはあるのか。
- ・農林水産省所管の独立行政法人の統合等を内容とする法律案が国会に提出されているが、この改革をもって組織改正は完結するとの認識でよいのか。
- ・農林水産物の高付加価値化、安全・安心を担保するためには、今後とも研究機関の重要性は高いと認識しているが、農林水産大臣の認識はどのようなものか。

村 岡 敏 英君（維新）

- ・米の輸入枠拡大には相当大きな財政的負担を伴うとの認識はあるか。
- ・T P P 協定交渉参加に関する農林水産委員会決議に対する農林水産大臣及び西村内閣府副大臣の認識を伺いたい。

・ T P P 交渉は、日 E U ・ E P A 交渉にどのような影響を与えると考えているのか。

齊 藤 和 子 君 (共 産)

・ 米価が下落し、ミニマム・アクセス米の数量は減少していない中で、 T P P 交渉において米を別枠で 5 万トン輸入しようとするという意味についてどのように考えているのか。

・ 衆参両院の農林水産委員会において、重要品目については再生産可能となるよう除外又は再協議の対象とすると決議したが、米について 5 万トンの輸入であれば除外と言えるのか。

・ 9 月いっぱいでもとめない T P P 交渉が漂流する可能性があるとの甘利 T P P 担当大臣の発言について、農林水産大臣はどのように考えているのか。

2 独立行政法人に係る改革を推進するための農林水産省関係法律の整備に関する法律案（内閣提出第 32 号）

・ 林農林水産大臣から提案理由の説明を聴取しました。